

## 2022年度健康課題 目標と取組み



当社は、2019年度より健康経営への取組みを開始し、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「**健康経営優良法人2022**」に引き続き認定されました。

今後とも健康意識向上と職場環境に対する社内コミュニケーションの活性化から、社員エンゲージメントを高めるとともに、下記健康課題に対し、継続した施策展開で生き生き働ける環境につなげてまいります。

## ◎健康課題① 有給休暇の取得向上

目標	有給取得：一人当たり年間10日以上取得の継続
現状	2019年度 9.39日/人 ⇒ 2020年度 10.80日/人 ⇒ 2021年度 12.0日/人
取組み	有休計画の見える化や部署内での業務平準化などにより、取得率は向上。時間外労働の管理も含めて各経営会議にて実績確認を行い、より良い職場環境に向けた業務配慮を継続実施。 (2021年度時間外労働：月平均18時間) 一部残る部門間の格差是正のため、社内の情報共有を強化する。
担当	総務部/各部門長

## ◎健康課題② 喫煙率の低下

目標	喫煙率25%以下（2025年度には10%以下 = 5ヶ年計画の3年目）
現状	2019年度 29.7% ⇒ 2020年度 29.9% ⇒ 2021年度 29.3%
取組み	健保組合と中期目標達成に向けて、セミナーを通じて一人ひとりの健康被害に対する意識向上を行った後、禁煙補助ツールの案内および健康管理アプリのミッションへの追加を促し、禁煙に向けたスケジュール徹底を行う。経営会議・研修等でも進捗の適宜情報開示を行い、更なる施策展開に繋げていく。（禁煙デー等の検討）
担当	総務部

## ◎健康課題③ 健康診断の再検査・要精密検査の受診率向上

目標	再検査受診率 85.0% = 5ヶ年計画の3年目
現状	2019年度 48% ⇒ 2020年度 59% ⇒ 2021年度 79%
取組み	疫病の早期発見と早期治療の重要性を認識させ、二次受診の大切さを広めた。また、アブセンティーズムの減少により、安定した事業運営につながることを会社全体で共有し、二次検診受診の風土を作った。受診勧奨の徹底を続け、受診率100%に繋げる。
担当	総務部

★エンゲージメント/プレゼンティーズムの向上から更なる職場環境改善につなげます。